

【科学研究費補助金研究等への参画状況】

課 題 名	担当研究者	協力依頼期間 (研究事業期間)	概 要
<p>病原体ゲノムを基盤とした病原体検索システムの利 活用に係る研究 (日本医療研究機構 (AMED) : 代表者 国立感染症研究所 黒田 誠)</p> <p>【分担研究】 地方衛生研究所における感染症危機管理ネットワー クの構築 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳 豊嶋千俊 中西千尋 岩城洋己 山下育孝 永井雅子 酒井祐佳</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<p>・全国地方衛生研究所における 遺伝子検査及び分子疫学解析 等, 病原体ゲノム解析の現状を 調査 ・研究協力者からのゲノム情報 の収集と解析 ・病原体ゲノム情報の利活用が もたらす感染症危機管理体制強 化へのメリットについて検討し, 取りまとめ全国地方衛生研究所 を対象に広報する</p>
<p>一類感染症等の新興・再興感染症の診断・治療・予防 法の研究推進 (日本医療研究機構 (AMED): 代表者 国立感染症研究所 下島 昌幸)</p> <p>【分担研究】 一類感染症等の実験室診断の迅速化 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 中西千尋 岩城洋己 山下育孝</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<p>・一類感染症全般とニパウイルス 感染症の迅速な診断法の確立 に向け, 地方衛生研究所でも実 施可能な方法について, 研修や 試薬の配布を通してその可能性 を試行する</p>
<p>急性弛緩性麻痺, 急性脳炎・脳症等の神経疾患に関す る網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明, 治療法の確立に資する臨床疫学研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 多屋 馨子)</p> <p>【分担研究】 地衛研における検査・病原体解析 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 中西千尋 岩城洋己 山下育孝 永井雅子 酒井祐佳</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<p>・地方衛生研究所における急性 脳炎・脳症・急性弛緩性脊髄炎 (AFP) の病原体検索の現状を 調査し, 国内の状況を明らかに する</p>

<p>食中毒原因ウイルスの不活化および高感度検出法に関する研究 (日本医療研究機構 (AMED): 代表者 国立感染症研究所 鈴木 亮介)</p> <p>【分担研究】 食材, 食中毒関連情報の収集, 地方衛生研究所における検証 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 中西千尋 岩城洋己 山下育孝</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<p>・新規検出系を各地方衛生研究所の研究協力者とともに, 実用性の検証を行い, 改良に必要な情報を得るとともに, 各ウイルス担当者へ情報を提供する</p>
<p>公衆浴場におけるレジオネラ症対策に資する検査・消毒方法等の衛生管理手法の開発のための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 前川 純子)</p> <p>【分担研究】 入浴施設の衛生管理ガイドラインの作成, 集団発生調査ガイドラインの作成, NGS を利用した疫学調査 (研究分担者 岡山理科大学 黒木 俊朗)</p>	<p>【協力研究】 浅野由紀子</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<p>・1年目に作成し2年目に評価・修正を行った現場で実践できる入浴施設の衛生管理ガイドラインについて, 実際の現場での使用による評価を行う ・1年目に作成し2年目に協力機関での試験的導入による評価を行った, 全国の自治体で使用できる集団発生調査ガイドラインについて, 現場での試験的導入を行う</p>
<p>重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の対策に資する開発研究 (日本医療研究機構 (AMED): 代表者 国立感染症研究所 西條 政幸)</p> <p>【分担研究】 SFTS 迅速診断法の開発 (研究分担者 国立感染症研究所 福士 秀悦)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人 豊嶋千俊 中西千尋 岩城洋己 山下育孝</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<p>・SFTS 疑い検体について LAMP 法を実施し, 従来の SFTS 検査法及びリアルタイム PCR 法と比較することで, LAMP 法の有用性を検討する. SFTS 検査診断における簡便で迅速にウイルス検出が可能な LAMP 法の確立及び実用化に向けた研究を実施する</p>
<p>新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究 (日本医療研究機構 (AMED): 代表者 国立感染症研究所 清水 博之)</p> <p>【分担研究】 エンテロウイルスサーベイランスにおける検査法の確立と実態解明 (研究分担者 群馬県立衛生環境研究所 猿木 信裕)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<p>・全国10カ所程度の地方衛生研究所の協力を得て, 検査法及び検査体制の整備・確立を行う ・各地方衛生研究所で検出されたエンテロウイルス D68 等のエンテロウイルス流行状況をもとに, 疾病との関連について解析し, エンテロウイルスと急性弛緩性麻痺及び髄膜炎との関連性を明らかにする</p>

<p>地方衛生研究所における感染症等による健康危機の対応体制強化に向けた研究 (厚生労働科学研究: 代表者 神奈川県衛生研究所 高崎 智彦)</p> <p>【分担研究】 地衛研間及び国立感染症研究所等他機関との連携協力に関する検討 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子</p>	<p>令和2～ 令和3年度</p>	<p>・地方衛生研究所と国立感染症研究所の間の連携協力に関する検討</p>
<p>地方衛生研究所における感染症等による健康危機の対応体制強化に向けた研究 (厚生労働科学研究: 代表者 神奈川県衛生研究所 高崎 智彦)</p> <p>【分担研究】 ヒューマンエラー予防やトラブルシューティングに関する研修 (研究分担者 国立感染症研究所 吉田 弘)</p>	<p>【協力研究】 豊嶋千俊</p>	<p>令和2～ 令和3年度</p>	<p>・地方衛生研究所の病原体検査における、ヒューマンエラー予防等を含めた研修など、検査担当者の人材育成について検討する</p>
<p>ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 村松 正道)</p> <p>【分担研究】 地方自治体の連携によるノロウイルスの分子疫学情報の収集と活用 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人 豊嶋千俊</p>	<p>令和2～ 令和4年度</p>	<p>・地方衛生研究所(地研), 大学ならびに国立感染症研究所(感染研)が連携し, 下痢症ウイルス感染の流行実態を解明し, 下痢症患者(感染性胃腸炎患者・食中毒患者)由来の網羅的分子疫学解析に関しては, 下痢症ウイルス感染症に関する不顕性感染の実態を解明する</p>
<p>地方衛生研究所における即応体制と相互支援等の確立に対する研究 (厚生労働行政推進調査事業: 代表者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p> <p>【分担研究】 体制検討, 検査の検証 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 中西千尋 岩城洋己 山下育孝</p>	<p>令和3年度</p>	<p>自治体における医療機関, 民間, 大学での検査体制や, 地方衛生研究所における検査, 感染症情報センターの人員, 精度管理, ゲノム解析の実施と活用等について, 貢献と課題を明らかにすることにより, 今後の感染症危機対応の強化につなげる</p>

<p>ワンヘルスに基づく食品由来耐性菌のサーベイランス体制の強化のための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 菅井 基行)</p> <p>【分担研究】 全国地研ネットワークに基づく食品及びヒトから分離されるサルモネラ, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳</p>	<p>令和3～ 令和5年度</p>	<p>・地方衛生研究所全国協議会ネットワークを利用した食品およびヒトから分離されるサルモネラ属菌, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査</p>
<p>食品由来感染症の病原体解析の手法及び病原体情報の共有に関する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 泉谷 秀昌)</p> <p>【分担研究】 中国・四国ブロックの菌株解析及び精度管理 (研究分担者 岡山県環境保健センター 狩谷 英明)</p>	<p>【協力研究】 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳</p>	<p>令和3～ 令和5年度</p>	<p>・腸管出血性大腸菌 O157 株の PFGE 法及び MLVA 法による精度管理, 発生事例の分子疫学的手法による解析, 県内で発生した腸管出血性大腸菌感染症事例の情報提供及び解析</p>
<p>愛玩動物由来人獣共通感染症の対策を目指した総合研究 (日本医療研究機構 (AMED) : 代表者 山口大学 前田 健)</p> <p>【分担研究】 愛玩動物由来人獣共通感染症に関する地方衛生研究所の対応の検討 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 豊嶋千俊</p>	<p>令和3～ 令和5年度</p>	<p>・愛玩動物由来人獣感染症の動物における診断・予防・治療法の開発 ・愛玩動物由来人獣共通感染症に関わる行政との連携の模索</p>
<p>薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究 (日本医療研究機構 (AMED) : 代表者 国立感染症研究所 菅井 基行)</p> <p>【分担研究】 病原体サーベイランスを活用した我が国のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 感染症の臨床疫学・分子疫学像の解明 (研究分担者 国立感染症研究所 鈴木 里和)</p>	<p>【協力研究】 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳</p>	<p>令和3～ 令和5年度</p>	<p>・地方衛生研究所における CRE の薬剤感受性試験体制を整備し標準的手法の開発</p>